

こ だ ま

東中祭大成功 ～築きあげた『縦の強い絆』～

お だやかな秋晴れのもと、東中祭が行われました。準備期間を含めて、とても充実した日々でした。1か月にも及ぶこの活動を通じて、上級生と下級生の強い絆ができました。2年生は、準備のときはもちろんのこと、当日も舞台上で発表する人をはじめ、展示物鑑賞の態度、昼食時のようすから充実した一日が過ごせました。来年度も充実した活動にしましょう。さて、今回で何を学んだのか、各クラス実行委員代表にまとめてもらいました。

○ 森 朱莉亜さん(2の1)

実行委員として、心を一にする大切さを学びました。オープニングのドラマの担当で、主な活動は撮影でした。撮影は、一人でもNGを出すとやり直しになるので、何回も何回もやり直しになりました。一発OKで終わると「心が一つになった」という気持ちになりました。

また、今年から始まった全校合唱も同じだと思います。パート別では声が合っても、全員で合わせるとなると難しく、心を一にするという気持ちがないと合わないので、「心を一にする大切さ」が重要なのだと思いました。

○ 土方彩未さん(2の2)

私は実行委員になって、みんなをまとめて、一つのものを作り上げる楽しさと大変さを学びました。全校合唱の練習では、みんなの手本になれるようにがんばりました。みんなが、私の指示を聴いてくれたので、スムーズに活動することができました。

○ 大谷優果さん(2の3)

私が実行委員になって学んだことは、何事にも一生懸命に取り組むことです。今回は、全校合唱がありましたが、合唱の練習や各カテゴリーごとの活動などに、一生懸命に取り組む大切さを感じました。これからは、私自身がやるべきことに対して精一杯努力できるようにしたいです。

○ 川久保 空さん(2の4)

私は実行委員になり、協力する心を学びました。先輩と後輩とで作り上げた全校合唱は、とても誇れるものになりました。一人一人が、合唱に対して真剣に取り組む、協力することができました。

また、先輩が後輩のよき手本になってくださったおかげで、縦の絆が深まりました。これからは、自分たちがこの伝統を引き継ぎ、今年以上の東中祭を作っていきたいです。

三者面談が始まります。お忙しい中、大変お世話になります。